

令和5年度根室市地域公共交通確保対策協議会総会 記録

【日時】 令和5年5月30日（火）14:00～14:30

【場所】 総合文化会館2階 特別会議室

【出席者】 別紙名簿のとおり

【内容】

（報告事項）

- ・報告第1号 令和4年度事業報告について ⇒承認
- ・報告第2号 令和4年度会計決算報告について ⇒承認

（協議事項）

- ・議案第1号 令和5年度事業計画（案）について ⇒承認
- ・議案第2号 令和5年度会計予算（案）について ⇒承認

（その他）

事務局及び交通事業者より、令和5年度事業について情報提供

【情報提供】

○事務局（根室市）

基本目標1-②の取組みとして、落石地区での通学・通院の利便性向上のため、新たにバス路線を新設した実証試験運行を4月10日より実施している。平日の高校生利用は約20名のほか、数名の通院の方の利用もあり、非常に乗車密度が高い。

基本目標2-⑦の取組みとして、18歳以下の市民及び小学生未満の子どもと同乗する保護者1名の公共交通利用者に対して無償で利用できる制度、バス乗車フリーパスを4月1日より実施している。4月実績は、申請389件、利用者は累計3,294名。

また、遠距離のJR通学費全額助成については、18名の6ヵ月定期券の申請があり、延べ人数3,240名のJR利用となっている。

●岡野委員（根室交通株）

落石線の平均乗車人数は約23名、うち大人は1-2名位、小学生1名の利用もある。花咲港地区からも乗車したいとの声も聞こえており、今回の実証試験運行で利用者に使やすいバス停の設置、運行ルートを検討してまいりたい。

根高線は、西浜町発の1日平均50名、松本町発は25名である。

納沙布線は、平均10名で、6月以降増える見込みである。

厚床線は、高校への利用もあると見込み、時刻表を変更のうえ市内に入ってから根高線に乗り換えることができるよう対応したが、残念ながら最大でも2名の利用にとどまっている。

路線バスの乗り方を紹介する動画が完成し、HP、YouTubeで公開している。小・中学校へDVDを配布するので、小中学生にもバスを利用していただきたい。

●岡野委員（根室ハイヤー組合）

北海道全体としてタクシー業界は運転手不足であり、各地でオンデマンド交通の実証試験が行われている。新たなタクシーの使い方として初めての試みであるが、10月からの実証試験運行に向け準備を整え、実施の際には、ご利用いただき意見をいただきたい。

●明委員（北海道旅客鉄道株）

これまで落石地区からは10数名の通学利用があり、現在は少なく、一見JRの利用が減るということになるのかもしれませんが、生活者の利用も大切にしている。先日には臨時特急も来ましたが、本日、釧路発8時過ぎの列車には、7名の旅行客に乗車いただいた。域外から一人でも多くのお客様を根室市に送りたく、総合的に公共交通の活性化を図りながら、我々が出来ることを進めて行きたいと考えております。

○竹本会長

本年度は、根室市地域公共交通計画のスタートの年として、基本方針に掲げる「子どもと高齢者にやさしく持続可能な公共交通体系の構築」を目指して、計画を推進してまいりますので、委員皆様のより一層のご協力をお願いします。

以上